

第2回定例会

第2回定例会

3名の議員が一般質問を行いました。
(紙面の都合上、質問と答弁は要約しています)

・一般質問①

・町長行政報告

一般質問

【答弁】(町長)
町内の光ファイバー回線が利用可能な世帯の割合は68・97%で、全道・管内でも低い数値です。
光ファイバー回線未整備の上地区(若佐・栄)、下地区(知

【質問】
現在の町内の有線情報通信回線の敷設状況及び、光ファイバー回線・第5世代移動通信システム(5G)の整備についての考えを伺います。

【答弁】(町長)
現在の情報化社会において、インターネット回線は必要不可欠なインフラ整備の一つであると考え、ブロードバンド回線などの情報通信基盤の整備について以下に伺います。

ブロードバンド回線(インターネット通信など)の整備について



高橋紀久 議員

【答弁】(企画財政課長)
5Gの整備については、光ファイバー回線の敷設が先とされており、今のところ整備要請等は考えておりません。

【質問】
来・仁倉・浜佐呂間・幌岩の通信網は、ADSL回線となつています。
今後の光ファイバー回線の整備についてですが、新型コロナウイルスに伴う長期休校対策としてオンライン授業を推進するため、光ファイバー回線の整備が必要とされ、国からも補助金・交付金を活用して整備推進に積極的に取り組むよう求められていることから、NTTと協力・連携して、年度内の3月までに町内全域での供用開始に向け整備を進めてまいります。

インターネットの安定・快適な通信のため 光ファイバー回線の整備が急務では 町長：国の財政支援を活用し 全町で利用できるように整備を進める

【答弁】(町長)
スマート農業は本町においても既に導入が始まっており、光回線が整備されることでさらに効率が高まると考えています。
今後はさらに導入を推進

【質問】
町内全域で利用可能にするということですが、各家庭まで光ファイバー回線を敷設するのはですか。

【答弁】(企画財政課長)
国の補助対象事業は電信柱までの敷設です。
そこから各家庭までの敷設は個人負担ということで考えています。

【質問】
今年度整備される防災行政無線の通信環境を有効に利用し、町民の役に立つ防災以外の利用法について、どのような考えをお持ちか伺います。

【答弁】(町長)
防災情報以外にも住民に対する緊急連絡や行政情報の伝達など幅広い利用が可能なもので、現在どのような利用ができるか検討しています。
想定する活用例は、行方不明者情報、通行止め等の交通情報、ふれあいバス運行情報、停電、断水、選挙に関する周知、熊目撃情報などの直接住民生活に関わる周知と考えています。

【質問】
今年度整備される防災行政無線の通信環境を有効に利用し、町民の役に立つ防災以外の利用法について、どのような考えをお持ちか伺います。

【答弁】(町長)
今年度整備される防災行政無線の通信環境を有効に利用し、町民の役に立つ防災以外の利用法について、どのような考えをお持ちか伺います。

町長行政報告

(要旨)

■学校給食費の負担軽減
新型コロナウイルス感染症対策のため、町内の小中学校を臨時休校としたことで、保護者の負担が大きくなったこと、分散登校時に給食メニューの変更が多くなったことなどを鑑み、給食費の負担軽減を実施いたします。
5月の分散登校約7日分の給食費は無償とし、4月と6月からの通常登校日の1食当たりの給食費を1/2軽減して、小学校では一人当たり年間2万1千円程度、中学校では2万5千円程度の減額となり、児童生徒342名で合計769万円の軽減となります。

■農作物の生育状況
今年の冬は小雪だったことから、秋まき小麦の凍害等が心配されましたが、平年並の生育となっております。
春まき小麦やビートの播種作業も順調に進み、デントコーンの播種も例年と変わらず開始されましたが、5月13日に局地的な大雨となり、発芽障害が一部で発生しました。
また6月5日にも局地的な強い雨と大粒の雹により、川西を中心にタマネギ、ビート、大豆、小麦などが被害を受け、農業改良普及センターや農協など関係機関と連携して対応等を迅速に行いましたが、今後も被害圃場の生育状況を注視し対応してまいります。
牧草は6月11日からサイレージと乾草収穫作業が行われ、収量が多くなると予想されていたが、悪天候による作業遅れで品質低下が懸念され、早い天候回復を期待します。

■町営牧場の入牧状況
5月16日と20日両日で入牧が行われ、6月18日現在、3箇所の町営牧場で乳牛483頭が放牧されました。

■漁業の状況
外海はたて稚貝放流については、5月16日から5月26日までの10日間の日程で終了、7963万粒をC海区へ放流との報告を受けました。
ほたて稚貝採苗については、オホーツク海及びサロマ湖内の海水温が平年より高く推移し、ラーバの出現が早く見ら



7月に入り天候が回復、収穫作業が急ピッチで進められた

■公共事業の執行状況
令和2年度に執行を計画する主な工事と委託事業の件数は57件で、総額8億6800万円を予定しており、現在の発注率は件数では58%、金額では66%となっております。

■漁業の状況
外海はたて漁業の今年の漁獲目標は、本操業計画1万トンに設定し、6月1日から一隻20トン体制で操業開始されています。

れたことから、5月7日より採苗器が投入され順調に推移しています。
今後は海水温の状況等を見守りながら、ラーバの付着状況調査を慎重に行っていくとのこと。
マス稚魚については、5月7日、8日に床丹川など町内3河川から、それぞれ約33万尾、合計100万尾を放流、サケ稚魚については200万尾を搬入し、そのうち190万尾を中間育成したのち5月23日に放流、残り10万尾は佐呂間別川から放流しました。

第2回定例会

・一般質問③

第2回定例会

・一般質問②

【質問】 介護保険制度は施行20年を迎え、今年度は第8期介護保険事業計画を策定する年度ですが、国は昨年暮れに低所得者に対する利用料の月額負担上限額の引き上げを打ち出してきました。

しかし、その後発生した新型コロナウイルス感染症の拡大により、介護の現場は一変し介護崩壊が起きかねない状況となっております。

新型コロナウイルス感染症の拡大がいまだに終わりの見えない中での策定となる第8期計画にあたっては、新たな負担増を組み入れることのない対応を求めるものですが、考えをお伺いいたします。

【答弁】（町長） 介護保険サービスは、高齢者やその家族の生活を支え、高齢者の健康を維持する上で不可欠なものです。

今般の新型コロナウイルス感染症によりサービス利用者への経済的負担増があるとするならば、大幅な介護報酬の改定にならないよう、国や道に対し要望していきたいと考えております。

また、第8期の計画の中には感染症対策としての事業計画を盛り込むことも検討しております。

【質問】 新型コロナウイルス感染症の影響で減収した個人事業主等への対応について、国保税の減免基準、減収期間等は自

【答弁】（町長） 町広報の5月号で国保税や町民税の徴収を猶予する制度を周知しました。

国から減免基準などが示されていますが、解釈の変更や修正が随時通知される状況であるため、今後とも状況を確認しながら、町としても国の示す基準で対応するように進めてまいります。

本件に関する相談窓口について、7月の国民健康保険証切替え時の通知に書類を同封しますので、担当係に相談していただければと思います。

【質問】 国が国民一人当たり10万円を給付する特別定額給付金は、令和2年4月27日時点で住民登録のある人が対象となつていますが、それ以降に生まれた新生児にも独自に給付する動きが各自治体で広がってきています。

我が町もこのコロナ禍の下で不安を抱えながら出産を迎え、誕生する新生児に10万円を独自に給付する考えがあるかお伺いいたします。

【答弁】（町長） 本町では平成27年4月から出産祝い金支給要綱を制定し、出産した親に対して一人10万円を支給する町独自の支援策を実施してきたところであり、これから出産される方はコロナ禍の下で不安を抱え出産を迎えようとしておられますが、出産祝い金を支給することで経済的不安を払拭し、安心して出産を迎えられる環境作りが図られると考えておりますので、国の基準日後に生まれた新生児に対する10万円の独自給付は現状考えておりません。



但木早苗 議員

新型コロナウイルス感染症対策について

国の10万円給付の基準日後に生まれた新生児へ独自に10万円を給付しては

町長：町独自の出産祝金制度があるため改めて10万円を給付する考えはない

【質問】 新型コロナウイルス感染症による緊急事態宣言が出され、学校が長期の休校になりました。

休校中の子ども達への対応として、主に私立の学校においてオンライン授業が行われていましたが、この度本町においてもGIGAスクール構想による学校ICT環境整備事業を実施し、学習環境の充実を図るということで、今定例会に事業費が補正予算として提出されております。

子供たちにPC端末を一人一台準備し、オンライン授業が可能になることは、今後新型コロナウイルスによる再度の休校や、災害時の休校などにも大いに役立つと期待して

【答弁】（教育長） GIGAスクール構想の早期実現が持ち上がり、全ての児童生徒、教職員に一人一台のタブレット端末を準備することとなりました。

今後、再度休校措置が出た場合にはオンラインの活用を支援していきます。

教師の働き方に考慮した、無理の無い持続可能なオンライン授業などのICT研修を推進し、時代に即した形で児童生徒の学びを保障したいと考えています。

【質問】 夏を迎え、学校ではマスクの着用による熱中症対策をどのように行っていくのか伺います。

【答弁】（教育長） 学校では国から示された「学校の新しい生活様式」に準じて感染予防対策を講じており、基本的には常時マスク

【質問】 避難所での感染予防対策については4月に国から通知が来ており、それを参考に対処することを考えております。

災害により避難状況は異なるため、具体的な対応としてはその時々で判断いたしますが、町が備蓄している避難所専用の間仕切り用の防災資機材を活用し、3密とならないように対応したいと考えているほか、避難所の増設による避難者の分散や、マスクの着用、消毒の徹底により感染予防に努めてまいります。



三田真美 議員

長期臨時休校時の児童・生徒の家庭学習に対する支援について

オンライン授業の実施に向けた教師の研修などソフト面の対応は

教育長：教師の働き方に配慮した無理の無いICT研修を推進する

【質問】 北海道も近年猛暑や梅雨のような気象状況になってきており、災害も毎年のように起きています。

本町でも災害により避難を余儀なくされた場合の、避難所での感染予防の対応について考えをお伺いします。

【答弁】（町長） 北海道も近年猛暑や梅雨のような気象状況になってきており、災害も毎年のように起きています。

本町でも災害により避難を余儀なくされた場合の、避難所での感染予防の対応について考えをお伺いします。